県連提出議題（代議員）

Ⅰ　発表会・競技会

１　（　令和１２年度全国大会宮城大会時の平板測量競技会参加資格の変更　）について

宮城県連盟

（提案内容とその理由）

令和１２年度全国大会宮城大会を開催するにあたり、平板測量競技会の参加資格を「各都道府県連盟で選出した単位クラブの代表とする。」から「ブロック連盟で審査の結果、代表２グループとする。ただし、開催ブロックは代表３チームとする。」に変更したい。開催種目の運営は開催県に任されており、現在協議中である。「オプション化」とする事も視野に入れつつ、持続可能な大会運営を模索する中で、参加者人数を少なくすることで競技会を開催できるよう「ブロック代表」とすることで、開催県の負担軽減を図りつつ、クラブ員の活躍の場を提供したいと考え、提案する。

２　（　令和 10 年度以降の日本学校農業クラブ全国大会における
実施競技会「平板測量競技会」の内容変更　）について

香川県連盟

（提案内容とその理由）

平板測量競技会はこれまで日本学校農業クラブ全国大会につながる競技会として長年にわたり実施されてきました。しかし、平板測量は現在の作業現場で利用されることは無くなっており、時代に沿った技術とは言えなくなっています。加えて平板測量機器の製造中止に伴い競技を実施することも困難となっています。また、競技会の審査では平板測量に関する専門性を有する審査員が不足しています。日連、各ブロック連盟及び各都道府県連盟においても何度か変更の提案を協議されたことと思いますが、今後（令和 10 年度以降）も農業土木・環境系の学習の成果を試す機会として新たな測量に関する技術競技会を提案します。

３　（　全国大会「プロジェクト発表会」における
ＰＣ以外の端末（タブレット等）の使用許可と環境整備　）について

熊本県連盟

（提案内容とその理由）

ＧＩＧＡスクール構想により１人１台端末が実現されている。熊本県では、各生徒にタブレットが貸与されており、「課題研究」などをはじめとして各授業の記録や研究発表をタブレットで行う機会が多くなり、校内におけるプロジェクト発表会などもタブレットの使用を認めている学校が複数校ある。今後も、そのような状況が益々増えると考えられるため、全国大会においてもプロジェクト発表会でのタブレット等（office 以外の chrome）の使用を許可し、それらを用いた実施が可能な環境を整えていく必要があるのではないか。

４　（　平板測量競技会　）について　　**熊本県連盟**

（提案内容とその理由）

実際の現場では、平板測量を使用されていないため、新しい測量技術（トータルステーションやドローンを使ったものなど）による競技会を模索してもらいたい。

Ⅱ　農業クラブ活動

１　（　農業クラブ活動に生徒全員が関わるための意識共有と協力方法　）について

東京都連盟

（提案内容とその理由）

農業に強い興味を持つ生徒と持たない生徒の間には授業に対する意欲や農業クラブ活動において大きな差が生まれる。そのことによりクラブ活動・授業における一体感が欠けることが課題となっている。理由は、意欲的に農業を学ぶ生徒のさらなる飛躍を目指すとともに、興味を持たない生徒も楽しくクラブ活動に参加し、様々な活動を通して農業に携わってほしいため。

２　（　農業クラブ広告活動　）について

山梨県連盟

（提案内容とその理由）

一般に方々への認知度を増やすために広告活動を実施したい。

３　（　農業クラブ員増加　）について

山梨県連盟

（提案内容とその理由）

現在、毎年のように農業クラブ員が減少している。農業クラブ員を減少させない、または増やすためにはどのような活動を行っていけばよいか。また積極的に活動を行う、農業クラブ員を増やすためにもどのようにしていけばよいか。

４　（　環境調査の活用　）について

山梨県連盟

（提案内容とその理由）

環境調査を毎年行っているが、タンポポの生育箇所を通じてどのような課題を発見できているのかということについて、全国的な検証結果を知りたい。また、各県ごとに調査用紙の提出率はどのようになっているのか、提出率を向上させるためにどのような取り組みが必要であるかを考えたい。

Ⅲ　その他

１　（　日連運営細則２第１条１（３）　）について

東北海道連盟

（提案内容とその理由）

前段の理事の委嘱について、及び、後段の関東ブロック連盟代議員の理事を常任とすることに対して、時代の変化に合わせて常任化と関東ブロックから多数の代議員を委嘱することを改訂してはどうか。理由として、関東ブロックの負担軽減と他ブロック、県連の日連運営への参画があります。他ブロックの実情や取り組みを知った上で、代議員会等への提案を原案立てしていくと審議内容も事前協議でき、各ブロック、県連の活発化につながると考えます。理事会等については、現在オンラインでの会議が可能なので、旅費の負担もほぼなく、現状よりも節約につながるのではないでしょうか。それに伴い、第２条以下も見直してはどうか。

２　（　日連運営細則１（２）　）について

東北海道連盟

（提案内容とその理由）

中央指導委員のあり方について、第２条には関東ブロックから委嘱するとは書いていないので、他のブロックからの登用も考えていけないでしょうか。日連会則第４章にもその記述はありません。理由として

は関東ブロックの負担軽減と他ブロック、県連の日連運営への参画と各ブロックの実情把握と情報共有でオンライン等の活用により、経費節減（※特に旅費）にもなると考えたからです。

３　（　他県との交流　）について　　埼玉県連盟

（提案内容とその理由）

普段、全国大会などに参加しない限り、他県との交流を密に持つことが難しく、他県での取り組みについて、あまり学ぶ機会がないのはもったいないことだと考えた。他県との交流を目的とした機会を日連主導で行うにはどのような方法があるか検討してもらいたい。

４　（　全国大会誌をデジタル化する　）について　　埼玉県連盟

（提案内容とその理由）

全国単位で情報がまとめられていて情報伝達として有意義な資料だと思うが、「ペーパーレス」、そして「手荷物として持ち帰るのには厳しい」という観点からデジタル化するべきではないかと思ったから。

協賛企業等の広告スペースとしての役割はあるが、それに関しても形を変えることができないか協議検討をしてもらいたい。

５　（　農業に対する社会的評価の低下　）について　　東京都連盟

（提案内容とその理由）

私たちの生活基盤を支えている「農業」の重要性を改めて認識し、社会全体でその重要性と価値に対する意識を変える必要性がある。また農業に対する汚い、疲れる、儲からないなど否定的なイメージが広がる中、次世代を担う農業高校生たちの学習意欲向上などを図りたい。理由として、次の３つのことがあげられる。１農業の重要性を再認識し、社会への認知を高めるため。２農業高校生のモチベーション向上と意識改革を図るため。３地域社会との連携を強化し、農業のイメージ向上を目指すため。

６　（　農業が抱える課題と農業高校生として出来る取り組み　）について　　東京都連盟

（提案内容とその理由）

激しい環境変化、労働者の高齢化と後継者不足、農産物価格の競争と地域農業の競争力の低下など農業は様々課題を抱えている。この課題に対して農業高校生としてどのように解決していくべきか検討を行う。理由としては、未来の農業の担い手として学習をしている農業高校生の視点で、農業の持続可能性を確保していきたいため。